

本市における不登校対策について

- 1 不登校未然防止「早期対応マニュアル」、相談シートの活用 ※参考資料 2-2(1)
 - ・連続欠席3日、または断続欠席7日となった時点で、欠席児童生徒の状況を校内で共有し、支援が必要な場合は、校内(学年)支援ケース会議等を開催するなど、個々に応じた支援につなげている。
 - ・できるだけ早期に支援につなげられるよう、「相談シート」を導入し、学校からの不登校などに関わる相談や質問などに応じ、初期対応の充実を図っている。
- 2 小中学校の連携促進(小中連絡会等)、保育所(園)・幼稚園・小学校との連携
 - ・保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校との連携のためのシートを作成し、情報共有を行うことで、継続的な支援の充実を図っている。
- 3 不登校対策研修会(不登校担当教員の研修会)の開催 ※年3回
 - ・小、中、養護学校の不登校担当教員の資質向上を図るための研修会を実施している。
- 4 学校内に教室以外の居場所を設けての学校生活の支援
 - ・校内フリースペースでは、「不登校児童生徒や、教室に入れなくなった児童生徒の校内における居場所となり、社会的自立に向けて支援する」ことを目的としている。
 - ・現在、市内全13中学校ならびに、今年度より新たに7小学校(過大規模校)へ設置し、児童生徒が安心できる大切な居場所となるよう、教職員および居場所サポーターがフリースペースに通ってきた児童生徒に寄り添い、自発的な取り組みを大切にしながら、学習や生活支援の充実に努めている。

[参考]【校内支援教室(校内フリースペース)利用人数】※2024(R6)年度は、10月末現在

中学校	学校名	教室名	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度
1	錦城	ステップルーム	5	8	4
2	朝霧	たんぼぼルーム	9	11	16
3	大蔵	けやき教室	9	10	8
4	衣川	なぎさ学級	16	15	22
5	野々池	すずらん教室	13	16	24
6	望海	のぞみ学級	8	5	6
7	大久保	ひまわり	8	5	10
8	大久保北	みかしほ学級	8	8	19
9	高丘	あすなろ	11	8	10
10	江井島	ひまわり学級	11	18	14
11	魚住	若苗教室	13	25	12
12	魚住東	なきすみ学級	16	18	13
13	二見	陽だまり教室	11	22	17
合 計			138	169	175

小学校	学校名	教室名	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度
1	朝霧	すずらん教室	10	4	12
2	人丸	フリースペース	6	5	8
3	沢池	和(なごみ)教室	3	15	9
4	藤江	たんぼぼ教室	6	4	2
5	大久保	ふれあいルーム	8	30	12
6	大久保南	居場所ルーム	5	8	5
7	山手	児童支援室	22	13	18
合計			60	79	66

※1度でも別室を利用した児童人数

5 明石市教育支援センターの設置および運営 ※参考資料 2-2(2)

- 教育委員会が所管する「もくせい教室」(明石市教育支援センター)を市内3か所開設し、登校しにくい児童生徒の社会的自立に向けた支援を行っている。また不登校となっている児童生徒に、様々な体験活動を通して、豊かな人間関係を構築することを目的に、「もくせいサテライト教室」を年間8回、市立少年自然の家を中心に実施している。

※保護者も参加できるため、保護者の交流の場としても活用されている。

[参考]【市教育支援センター(もくせい教室)登録状況】※2024(R6)年度は、10月末現在

	2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度	
	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
東部もくせい教室	5	21	17	6	10	8
西部もくせい教室	11	12	14	16	14	14
朝霧もくせい教室	12	10	15	16	12	18
合計	28	43	46	38	36	40
	71		84		76	

6 学校外の居場所(民間施設等)との連携

- こども局の所管のもと、明石市こどもの居場所設置(運営パイロット事業)として、「公益財団法人こども財団」が委託を受け、「一般社団法人 こっち」が運営を行っている「あかしフリースペース ☆トロッコ」を市内1か所開設し、明石市民の6~18歳迄のこどもを対象に、設置目的に基づいたプログラムで支援を行っています。

※2025(R7)年度1月頃:こどもの居場所(西部拠点)開設予定

[参考]【あかしフリースペース☆トロッコ通所生状況(出席扱い人数)】

	2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度	
	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
あかしフリースペース ☆トロッコ	11	16	11	15	8	9
合計	27		26		17	

※2024(R6)年度は、10月末現在

- ・民間のフリースクール等については、それぞれが自主的に設置・運営されており、不登校児童生徒に対し、個別の学習や相談、カウンセリング、社会体験や自然体験などの体験活動、授業形式（講義形式）による学習などを行っている。

※明石市 8 か所（フリースクール 7 施設、病院 1 施設）

- ①明石フリースペース☆トロッコ、②フリースクール feel 小久保、
- ③フリースクール feel 大久保、④トライ式高等学院 中等部 西明石キャンパス、
- ⑤WILL 学園明石キャンパス、⑥フリースクールりんご、⑦明石こころのホスピタルさくらコース、
- ⑧オルタナティブスクール I' m（あいむ） ※令和 6 年 9 月開設

【参考】【フリースクール通所生状況（出席扱い人数）】 ※2024(R6)年度は、10月末現在

	2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度	
	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
フリースクール	4	21	13	24	17	18
合計	25		37		35	

7 ICT機器（タブレット端末）を活用した支援（学習活動など）

- ・学校への復帰を望んでいるにも関わらず、家庭にひきこもりがちであるため、十分な支援が行き届いていないと言えなかったり、不登校であることによる学習の遅れなどに対し、ICT機器を活用した支援を行っている。 ※出席扱い（R6）：小学生 2 名 中学生 2 名

＜具体的な支援の状況＞

- ビデオ会議システムを活用して授業の様子をライブ配信している。
- 朝の会や帰りの会の様子をライブ配信している。
- 教育相談などのオンライン面談を実施している。
- 放課後にオンライン補習授業を行っている。
- 授業後の板書を撮影して配信するなどの「オンデマンド配信」をしている。

また、もくせい教室（明石市教育支援センター）においても、以下の取組を実施している。

- 在籍校の授業に、オンラインで参加をしている通室生を支援している。
- 通室生がタブレット端末を活用して、在籍校の先生との間で課題の提出等のやりとりを行った
り、ドリル学習や調べ学習を行っている。

8 保護者への支援（教育・相談機関の情報提供および教育相談の実施）

＜教育相談＞ ※参考資料 2-2(3)

- ・青少年育成センターにて、子ども、保護者、教職員の方々からの相談に「相談員」が電話、来所による面談に応じている。

＜保護者支援リーフレット＞ ※参考資料 2-2(4)

- ・域内の教育支援センターや相談機関、保護者の会、フリースクール等の民間施設などに関する情報を整理したリーフレットを作成し、保護者に提供している。

＜フリースクール等利用料助成制度＞ ※参考資料 2-2(5)

- ・不登校児童生徒の多様な居場所を確保し、社会的自立に向けた支援を推し進めることを目的として、本市が認定したフリースクール等の民間施設を利用する児童生徒の保護者に対して、利用にかかる経費への助成を実施する。

※2024(R6)年度11月末現在の申請者数：小学生 21 名、中学生 17 名 計 38 名